



# 令和3年度第2回 鹿部町「対話ミーティング」

---

令和3年11月27日(土)14時00分～

中央公民館

## ■本日説明する内容

### ●令和3年度事業の進捗報告について

防災・デジタル推進室	●鹿部町デジタルファースト宣言
企画振興課	●第6次鹿部町総合計画 ●鹿部町地域公共交通(路線バス鹿部駅線再編運行) ●鹿部町地域公共交通(デマンド運行)
保健福祉課	●鹿部町地域活動支援センター「ぽっぽ」利用促進事業
水産経済課	●鹿部町地域就労サポートセンター鹿部町雇用・労働支援事業 ●鹿部町起業・創業支援事業 ●A級グルメ構想の推進
建設水道課	●鹿部町水道認可変更事業

### ●令和4年度新規事業の概要について

民生課	●鹿部町空家等除却支援事業
漁業振興室	●昆布母藻群落造成事業

# ■ 令和3年度事業の 進捗報告について

# 鹿部町デジタルファースト宣言

令和3年5月6日、鹿部町役場新庁舎開設に併せ「鹿部町デジタルファースト宣言」を行い、デジタル技術を活用した取り組みを推進



## 「住民サービス」のデジタルファースト

子育て、教育、福祉、防災など様々な分野における住民の利便性向上を目指します。



## 「行政運営」のデジタルファースト

的確で効率的な行政運営を行い、生産性の向上を目指します。



## 「関係人口施策」のデジタルファースト

町外に向けた情報発信とマーケティングをより戦略的に展開し、地域経済の活性化を目指します。

### 事業進捗状況

- ・資料等のペーパーレス化
- ・デジタルサイネージの活用
- ・学校現場におけるICTの活用

### 今後の展開

- ・行政手続きのオンライン化
- ・AIを活用した自治体業務のスリム化

# 第6次鹿部町総合計画

- ・ 事業費：4,163千円
- ・ 財源内訳：4,163千円（一般財源）

総合計画とは、将来的に鹿部町をどのような「まち」にしていくのか、そのためにどのように取り組むのかを総合的、体系的にまとめた行政運営の最上位の計画であり、「まちづくり」を進めていくための道しるべとなります。

令和5年3月までに、町民の皆様からご意見やご提案を伺い、共に取り組み策定します。

## 事業計画

第6次総合計画の策定に向け、第5次総合計画（計画期間H25年（2013年）～R4年（2022年））10年間の事業検証と第6次計画の事業の洗い出しなどの準備・検証・策定を令和3年度から令和4年度の2年間で実施します。

## ポイント

- ①課題ばかりではなく可能性も感じられる「まちづくりビジョン」が伝わる計画とします。
- ②「10年ひと昔」中学生や若手職員の思いなどに耳を傾けます。
- ③実施計画は妥当性や効果を検証することに重きを置き管理します。

## 今後の展開

令和3年度 町民アンケート調査、中学生アンケート、トップインタビュー、第5次総合計画の検証など

令和4年度 町民・若手職員ワークショップ、町内団体アンケート、関連計画の調整、基本構想・基本計画の策定

# ■路線バス鹿部駅線再編運行

- ・事業費：35,344千円
- ・財源内訳：7,500千円(国庫補助)  
27,844千円(一般財源)

令和3年5月1日～路線バス鹿部駅線を再編することにより、継続的に町民の生活交通を確保する。

車内モニターへの町PR動画投影、  
光触媒コーティング(コロナ対策)、  
無料Wi-Fi搭載



## 事業進捗状況

- ・利用者の意見等を反映し、運行時刻やルートの一部変更を実施
- ・乗車人数：5月750人、6月1,138人、7月730人、8月707人、9月893人、10月959人  
⇒新型コロナウイルス流行前の令和元年同時期乗車人数と比較し1.5～2倍の乗車

## 今後の展開

- ・時間帯や曜日によって利用の少ない停留所への立ち寄りを省略し、運行の効率化を図る
- ・利用の少ない便について、時刻等の見直しや減便を検討  
(1回の乗車人数(年度の平均)が1人に満たない便について減便や必要な時間帯の運行等を検討)

企画振興課 令和3年度

# ■ デマンド交通運行

- ・ 事業費：4,125千円
- ・ 財源内訳：2,000千円(国庫補助)  
2,125千円(一般財源)

大岩地区・鹿部リゾート地区と路線バス乗継ぎ地点をつなぐデマンド運行を実施することにより、交通空白地域における交通弱者の移動手段を確保する。

## 事業進捗状況

- ・ 令和3年10月12日から実証運行(無料)を開始(令和4年2月26日まで)
- ・ 運行事業者：(有)北海道・函館moomoo-taxi(モーモータクシー)
- ・ 令和3年11月8・11・12日(リゾートオーナーズサロン)・16日(役場)にデマンド交通説明会を開催、22人参加
- ・ 事前登録者数：93人、利用者数：延べ18人(令和3年11月19日現在)



## 今後の展開

- ・ モーモータクシーによるハイヤー営業を実施予定(令和3年12月又は令和4年1月開始を目指す。)
- ・ 令和4年1月～ 自立ホームヘルプの休止
- ・ 利用登録者へのアンケートや、地域公共交通利用者会議等の意見を踏まえ、運行内容や運賃について検討
- ・ 令和4年3月～ 町購入のワゴン車と事業所の車両で、デマンド実証運行を実施
- ・ 実証運行の結果を踏まえ、令和4年4月の本格運行について検討

# 鹿部町地域活動支援センター 「ぽっぽ」利用促進事業

- ・事業費：9,274千円
- ・財源内訳：9,274千円(一般財源)

鹿部町地域活動支援センター「しかべ・ぽっぽ館」の利用促進と障がい者の働く場の充実を目的とする。また、高齢者や子育て世代の交流の拠点となることを目指す。

## 「カフェぽっぽ」を「農カフェ」にリニューアル

- ・野菜を使ったスムージーやスイーツの販売
- ・地場産品(タラコやホタテ)を使ったおにぎりの販売
- ・野菜や米の販売



## 地域共生型社会の構築

障がい者や子ども、高齢者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会の構築を目指す

## 事業進捗状況

- ・令和3年4月営業開始
- ・広報誌やSNSを通じてPRを実施
- ・町内の障がい者の方に対し、地域活動支援センターの利用を呼びかけ

## 今後の展開

- ・障がいがあっても自分が暮らす場所が選択できる地域生活支援拠点の整備
- ・「地域共生型社会」の構築



# 鹿部町地域就労サポートセンター 鹿部町雇用・労働支援事業

- ・事業費：92千円
- ・財源内訳：92千円(一般財源)

町内の労働者や事業者を対象に、社会保険労務士(社労士)から個別相談や学びの場となる講演会を開催し、雇用や労働環境の整備を促進

## 事業進捗状況

- ・講演会事業 ……新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催を延期
- ・個別相談会事業 ……令和3年7月に開催(2事業者が相談)
- ・アンケート調査 ……令和3年9月に調査開始、10月に結果を取りまとめ、町公式ホームページにて公表、111社中42社が回答

<有効求人倍率> R3. 4月 = 0.08倍 R3. 9月 = 0.27倍

## 今後の展開

アンケート調査の結果から、行政機関等の財政的支援が「働き方改革」を推進するきっかけとなる旨の回答が59%と半数を超えたことから、国等が行う支援施策の活用を促す情報発信を進める予定。

# 鹿部町起業・創業支援事業

- ・事業費：4,000千円
- ・財源内訳：4,000千円（一般財源）

地域課題の解決、雇用創出等に資する事業を行う町内で起業・創業する者を対象に、支度金として町が支援金を支給することにより、起業・創業の件数増に伴う地域経済の活性化と雇用創出を図る。



## ●補助対象者

町内で起業又は創業に取り組み、自らクラウドファンディングを実施する者

## ●補助額

起業：1事業者あたり 100万円以内  
創業：1事業者あたり 50万円以内

## 事業進捗状況

支援活用予定相談：3者

## 今後の展開

活用状況や起業創業相談の状況に応じた制度構築を進める

# ■A級グルメ構想の推進

・事業費：14,811千円  
 ・財源内訳：4,811千円（一般財源）  
 10,000千円  
 （農村漁村進行交付金）

地域の誇りである『食』を通し、昨年策定の「産業連携ビジョン」に基づき、生産から消費までを繋ぐ地域循環型経済を目指し、漁業や水産業の付加価値向上を図り、生産者の所得向上、安定へと繋げる。

## 事業進捗状況

### ・山村活性化対策事業

「干したラコ」「ホタテ饅頭」「タラの葉茶」を開発、「スケソバーガー」の販売促進

### ・食による観光振興事業

①にっぽんA級グルメのまち連合

（東京都千代田区での物販、Youtubeライブでの料理教室）

②オンライン料理教室（1回実施済み。年度内にもう1度実施予定）

③A級グルメナイト（検討中）

④にっぽんA級グルメのまち連合PR試食会及び鹿部ロイヤルホテルとの連携事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。



オンライン料理教室の様子

## 今後の展開

### ・山村活性化対策事業

地域資源（温泉熱等）を活用した野菜等の苗の生産・販売体制を構築し、町内で「家庭菜園」ができる「農」ある暮らしを目指し、令和4年度から3年度で事業骨格を検討

### ・食による観光振興事業

今年度は、数事業がコロナ禍により中止となったが、状況が少しずつ緩和されたため、令和3年度後半から令和4年度については、これまでの分をできる範囲で実施していきたいと考える。

# 鹿部町水道認可変更事業

・事業費：5,845千円  
・財源内訳：5,845千円（一般財源）

水道事業の将来にわたる経営の健全化を確保することを目的に「上水道」から「簡易水道」へ移行。

## …現在の水道事業における課題…

### 給水人口減少



少子高齢化等の要因による**給水人口の減少に伴い給水量も減少する。**

▶ **料金収入も減少**することが予想される

人口規模に合わせた事業運営・赤字額の減少  
⇒「簡易水道事業の補助金を活用」

### 管路の老朽化



**有収率が低い**（造った水道水が住民へ届けられる割合）  
40年前に布設された管路が大半を占める。

▶ **漏水調査、管路更新、耐震化が必要**

管路更新計画により、更新管路を決定  
⇒「有収率の向上と老朽管」を更新

### 水源汚染



集中豪雨による**取水量の運転調整**（年に数回発生）  
塩素消毒で死滅しない感染性生物による**汚染の可能性**

▶ **いつでも安定した供給のための対策が必要**

「原水調整池の紫外線処理設備の導入」により、  
原水水質の改善及び安定共有

## …簡易水道のポイント…

「水道料金」は変わりません

「上水道」と「簡易水道」の違いは？  
—上水道—

- 給水人口が5,001人以上

—簡易水道—

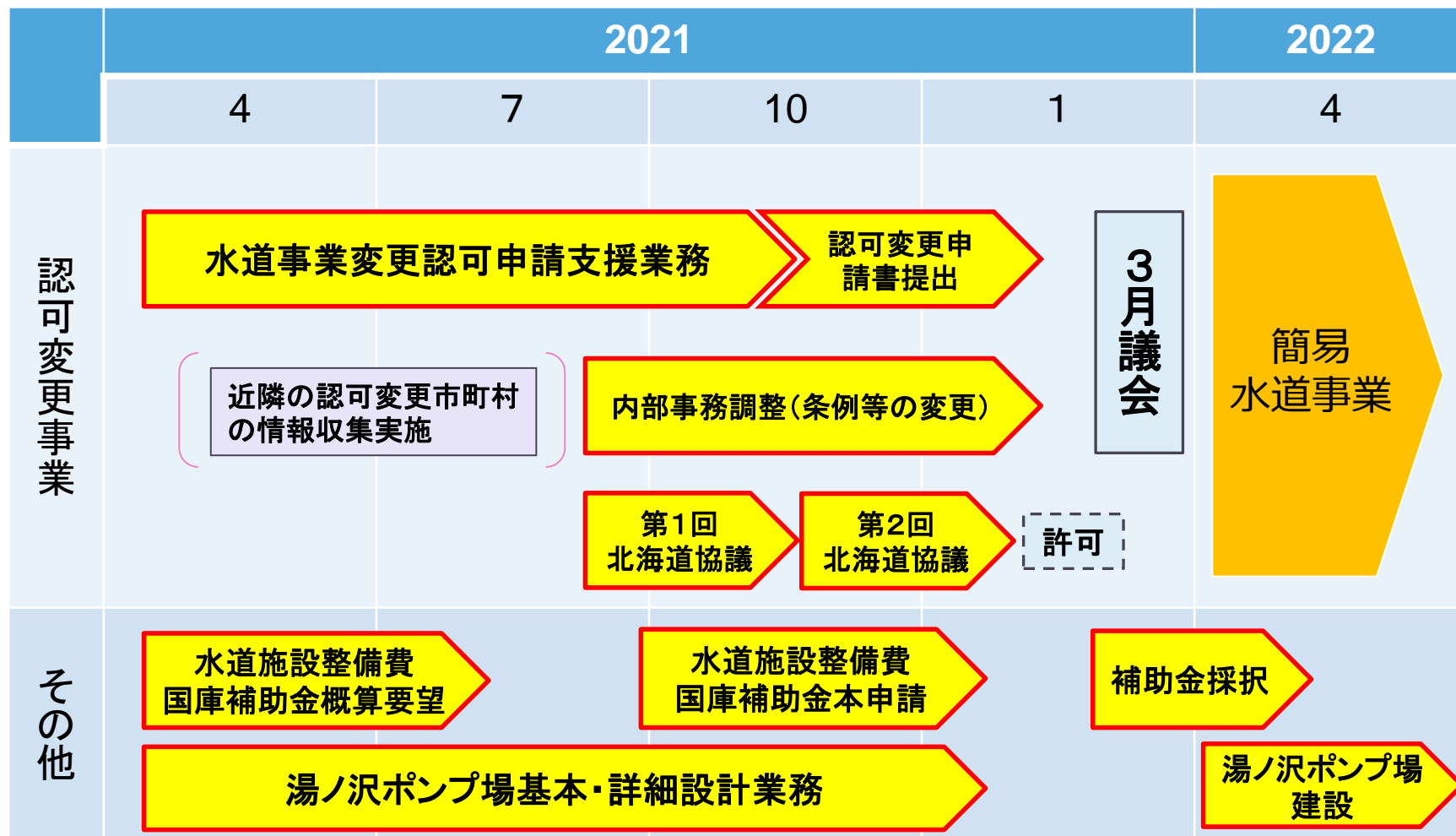
- 給水人口が101人以上5,000人以下

「簡易水道」になり何が変わるのか？

- 水道施設や設備に変更はありません。
- 「簡易水道」に移行することで、国からの補助金等により財源を確保し、経営の健全化を確保することが出来ます。

# 鹿部町水道認可変更事業

「上水道」から「簡易水道」への移行に係る進捗状況について



# ■令和4年度新規事業の概要について

## 鹿部町空家等除却支援事業

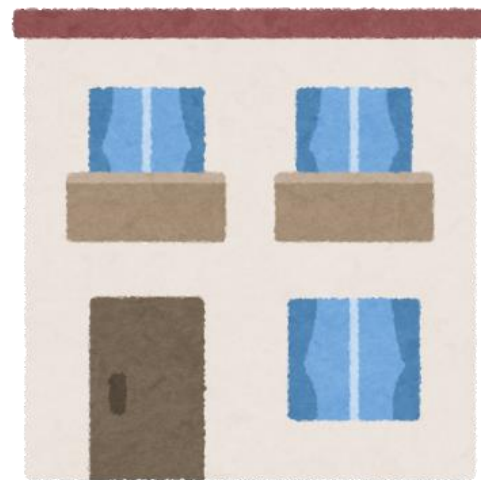
町内に存在する老朽化が著しく、周辺的生活環境及び地域に悪影響を及ぼしている又は及ぼすおそれのある空家等の除却促進を図り、地域住民の安全安心を確保することを目的に、空き家等の除却に要する経費の一部を補助する。

### ●補助対象者

交付対象空家等の所有者等

### ●補助額

現在検討中



### 今後の展開

除却促進を図るために、5年間の時限措置とする予定。6年目以降は状況を見ながら再度検討する。

# ■ 昆布母藻群落造成事業

昆布母藻造成事業及びモニタリング調査を実施する。

・事業費：3,200千円  
 ・財源内訳：3,200千円  
 （一般財源）

## ○ 母藻造成事業

- ・立縄礁設置 ⇒ 100基(予定)
- ・スポアバック ⇒ 150ヶ(予定)
- ・昆布遊走子どもぶ漬け(石・縄)



## ○ モニタリング調査

- ・昆布の生育状況調査
- ・環境要因調査
- ・予備調査



## 今後の展開

### (現状)

昆布増産対策として、囲い礁整備、投石事業などハード対策に加え、漁業者が主体となり母藻造成などのソフト対策を行っている。

### (今後)

各対策について、年ごと、対策ごとに対策の結果を正しく評価し、その後の手法選定や改善に反映するため、継続してデータの蓄積を図る事が必要である。

※漁業者が行うソフト対策を対象に昆布生育状況とそれに関わる環境要因をモニタリングすることにより、今後の対策に反映させることができ、対策が効果的にすすめることが出来る。



## ■意見交換・質疑応答

- 令和3年度事業進捗報告について
- 令和4年度新規事業の概要について
- 町の政策全体について
- 確認したいこと

など

ご意見・ご質問は  
ございますか？





# 令和3年度第2回 鹿部町「対話ミーティング」

---

ご来場いただきありがとうございました

